

機械化による 能率の改善

＝ダンブカーで市道修理に万善＝



市では、この程何かと迷惑をかけていました市道改修のスピード化と努力負担を軽減するためにダンブカーに改装しましたうち一台は市道維持修理専用として利用することになりましたまた、土木耕地の現場調査指導や予防注射などを始め、指導や連絡を密にし高率的にスピード化するためプリンス52年式スカイウエイライトバン6人乗りの

連絡自動車、また上水道の修理に機動性をもたせるために現業用オート三輪を購入しました。その他、窓口事務の能率をあげ皆さんの利便を計るために戸籍謄抄本の複写機リコピイドライを更進しました。消防力の強化のために中型消防ポンプ自動車新車を購入 第4分団(上古井地区)に貸与しました。

事務改善に職員の提案制度や論文募集

＝自主的な研究改善進む＝

いま市職員のなかで積極的に事務の合理化や経費の節減、サービスの向上をしようというので例えば、今まで扱ってきた帳簿や、支払方法を根本的に改革して事務簡素化しようというような提案がされ審査委員会でこの採否を査定し、採用した事項の啓蒙や実施の促進のために推進

委員をつくるなど意欲的な活動が進められています。また、毎週職員としてその時期に知っておくべき事項などを知らせている庁内広報では、第一回庁内広報賞を設定し、職員の研修と市行政の改善を計つて論文等を職員から募集するなど研究や改善が進められています

古井連絡所が移転します
古井連絡所が、六月十一日から上古井三六五番地ノ六(古井郷土館内)に移転業務をいたします。
下古井及び二ツ塚区域の方は、戸籍住民登録の届出、謄抄本の交付、登録、母子手帳交付や印章証明、配給等皆さんに直接関係ある事務はすべて本庁で行い、自治会長さんに依頼する市役所事務の取りまとめなどは市民課内に古井地区副主任を置き処理いたします。その他のことは以前通り古井連絡所で行ないます。
その他自治会等古井町全般的の会合は従前通り中央で行なふなどの通り処理致し市民の利便を計ることになりました。

二和 下美田の登記管轄がかわる

五月一日より三和、下美田地区の登記事務が市内に一本化され、太田町にある御宮法務局美濃加茂出張所に移管されております。
太田町前通り東土地区劃整理審議会委員選挙人名簿の従覧

お知らせ

七月十四日執行される市都市計画太田駅前通り東土地区劃整理審議会委員選挙人名簿が五月二十八日より六月十日まで市役所にて従覧されております。

宿願の福辺簡易水道完成

二月二十七日より美濃工業KKによつて工事が進められていた福辺簡易水道は竣工費三百二十五万一千円にて、五月十二日竣工式が挙行され福辺部落七十五戸に多年の宿願が通り、一日必要量四十二トンに対し三十五倍に及ぶ千四百トンという極めて豊富で上質な水脈をもち、これから夏場にむかい宿願がかない大喜びである。

関係 結核 精神病給付期間制限撤廃

今まで国民健康保険で結核、精神病の給付期間は三年間であったのを六月一日より、この制限を撤廃し全治まで給付することになりました。

【健康優良児に美幸ちゃんら10名】

昭和37年度春秋乳児検診が行はれていましたが、この程その結果が纏まり、5月22日358名中より選出された美幸ちゃん等10名が健康優良児として表彰されました。



- 母乳の部
佐賀美幸(保護者 康 古井)
- 混合の部
波辺美子(父 節夫 母 若井)
- 波辺康張(父 広茂 母 下米田)
- 関宮富士子(父 仁吉 母 加茂野)
- 西田達史(父 徹 母 山之上)
- 人工の部
山田安孝(父 岩男 母 太田)
- 若井雅彦(父 惠二 母 太田)
- 未熟児の部
三品啓子(父 昭 母 太田)
- 山田秀幸(父 定男 母 〃)

【加茂農協農業協同組合発足(組合長に波辺市長就任を承諾)】

加茂郡市館農家977人(飼養頭数2900頭)が大団結して協同組合を結成し暫定期間を経て5月2日初の臨時総会を開催し、運営指導等を強化し当面の課題である



皆さんのご意見質問や各地の話などこの広場としてご利用下さい

クーラーステーションの設置をし、一元集荷により計画的な共販体制を強化して妥当な乳価の設定という難問題と取り組むことになった。
組合長については、理事会の再三に及ぶ強い要請により5月28日の理事会において 波辺市長が組合長を承諾し、一致団結、県下最大の生産地としての体勢を整え酪農家多年の宿願を推進し実現することになった。
現在乳牛の飼養頭数は県下の市郡のうちで美濃加茂市加茂郡ともにトップにあり、あわせて県下の21.3%を占め、生産販売される牛乳は 日量23.6トン(125石)年間3億1000万円を越しており、現在県内最高の 東濃酪農30石を2倍余と越しており、東海地方屈指の協同組合となり先に農林省の発表した農産物の需要と生産の長期見通しにもあるように昭和46年には需要が34年に比して4.2倍となり、生産は5.5倍にしか達しないと見込まれていることとあわせて輝かしい前途に心から祝福をおくりたい。

【波辺市長養蚕土中飼育を視察】

加茂郡市養蚕組合連合会の管内は、加茂郡市飼養戸数4400戸、年間収量764トン生産額3億8千万円で 県下



の19.8%を占めている。このなかでも近代養蚕の先端を行くのが下米田町であり、現在土中飼育が盛んに行われ、極めて労力がはぶけるばかりでなく、その成績もよく好評である5月30日 波辺市長は、西隣の波辺邦夫さん宅の土中飼育を始め下米田の養蚕地帯を視察し農繁期の家庭を激励した。